

生産組合についてお困りごとがあればお電話ください

## ○ 定期総会を開催しました ○

令和5年7月13日19時30分から市民センターにて開催しました。当日は48組織に参加いただき、令和4年度事業報告や令和5年度の取り組みについて決定しました。

また、情報提供では市から新規事業や地域計画、オーガニックビレッジの説明、JAからはLINE登録や黒大豆圃場の土壌水分確認方法、普及センターからは水稻の品質向上に向けた取り組みについて説明がありました。



## ○ 令和5年度の主な事業計画 ○

- 6月 水田除草機実演会
  - 7月 定期総会及び事例発表研修会
  - 8月 土づくりセミナー
  - 11月 県内視察または事例発表研修会
  - 1月 簿記記帳研修会
  - 1~2月 水稻品質向上研修会
  - 2月 集落営農法人情報交換会
  - 3月 県集落営農組織ネットワーク協議会研修会
- ※○印は関係団体との連携事業です。



簿記記帳研修会（四季の森 R3年度）

## ○水田除草機実演会 ○

令和5年6月9日、岩崎集落の（株）アグリヘルシーファームの圃場において水田除草機の実演会を開きました。当日は約20名の農業者が参加し、除草機械の仕組みや機械作業の様子を熱心に見学されました。



機械・施設

## ○ 事例発表研修会 ○

令和5年7月13日、くもべまちづくり協議会の中西千秋氏から、まちづくり協議会が、担い手や農地の保全について集落毎にヒヤリング調査を行い、地域の行動計画を作成し、取り組まれている事例を発表いただきました。



経営

## ○ 環境や生きものに配慮した「農都のめぐみ米」 ○

丹波篠山市では、農薬・化学肥料を5割以上減らし、環境や生きものに配慮した「農都のめぐみ米」の取り組みを進めています。令和3年12月から学校給食のすべてのご飯に使用されています。令和4年度は10組織\*の協力により、50トが供給されました。また、生きもの調査や食育事業の講師もお世話になっています。



\*西吹共同営農有志会、野中営農組合、(農)丹波ささやまおただ、(農)辻営農組合、野々垣生産組合、西荘共同作業、西野々営農組合、山田営農組合、福井営農組合、(農)いずみ営農組合

生産・技術

## ○ 営農組織が誕生しました ○

### ○ 寺内農業生産組合

昨年の春頃から検討を始められ、「まずは出来ることからやっいてこう」と全戸が加入し、令和5年6月に寺内農業生産組合(12戸)が設立されました。

寺本勲組合長は「今はライムソワーと自走式草刈り機しかなく、自己資金もないので各農家が持たれている機械を活用しながら、当面は農業に関する共助組織としてみんなで活動していきたい」と話されていました。今後は地域の新たな担い手としての活動が期待されます。



寺本勲組合長

### ○ 富貴営農株式会社

高齢化が進む中で、農地を守ろうと平成19年4月に設立された富貴営農組合が令和5年6月1日に富貴営農株式会社として法人化されました。法人化の理由はインボイス(適格請求書)対応が必要になり、税理士と相談された結果、任意の営農組織を株式会社にされました。現在、8名の構成員で約10ha(水稻9ha、黒大豆1ha)の農地を経営されています。

谷垣健司代表は、「これからは認定農業者の申請を行い、地域農業の持続できる担い手として発展させていきたい」と意気込んでおられます。



谷垣健司代表

組織